

**公益財団法人世界緑茶協会**  
**令和4年度事業報告**

茶を楽しみ、その文化、歴史に触れ、茶の魅力を実感できる「茶の都しずおか」づくりの一翼を担い、世界の茶文化やお茶を楽しむ新しいスタイルを提案する事業の実施を通じ、茶のある豊かな生活の実現に寄与した。

世界お茶まつり 2022 では緑茶に関する国際会議等を開催し、茶の情報集積・発信、緑茶の普及促進に寄与した。

また、国の農産物輸出拡大実行戦略に沿って、農林水産省、関係団体と連携して海外での日本茶の普及と輸出の促進を図った。

さらに、茶業界の枠を超えた多様なメンバーから成る「Cha0I フォーラム」において、オープンイノベーションの手法による新たな茶の需要創出と生産構造の転換を支援した。

**1 茶文化に関する講座及び体験事業（公益目的事業1）**

**(1) 茶文化セミナー等の開催**

世界お茶まつり 2022 の企画と連携し、お茶を学び体験するセミナーや、お茶の新たな魅力や楽しみ方を提案するセミナーを開催し、茶を楽しむ機会の創出を図った。

区分	時期・場所	内容	人数
世界お茶まつり春のお茶まつりウィークにおけるお茶体験講座	令和4年5月4日(水)、5日(木) 1日2回(計4回) 天竜浜名湖鉄道、天竜二俣駅	世界お茶まつり春のお茶まつりウィーク特別企画「0-CHA 旅@沿線」において天竜浜名湖鉄道と連携し、「スローライフトレインで行く 0-CHA 旅！」の一環として日本茶インストラクターからお茶を学び体験するセミナーを開催した。	一般参加者 83人
世界緑茶セミナー	令和4年10月21日(金) 午後1時、午後3時(各1時間) 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 9F、910 会議室	世界お茶まつり 2022 秋の祭典の産業・学術プログラムの一環として、お茶の新たな魅力や楽しみ方を提案するセミナー2講座「日本茶とフランスチーズのマリアージュ～まつり特別編～」、「フランス菓子のホントのところ～お茶とスイーツを愉しもう～」を開催した。	一般参加者 79人

**(2) 情報誌「緑茶通信」等の発行**

茶に関する幅広い情報を発信するため、専門情報誌「緑茶通信」を発行した。

発行時期	内容	発行部数
令和4年9月 51号	○特集：品種！その多様な世界と魅力Ⅱ ・品種の未来～品種育成の現場から～	1,000部

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の次世代育種法の構築～DNA 情報の活用～</li> <li>・中国茶樹の優良品種と特色ある機能性新製品の開発</li> <li>○特別寄稿</li> <li>・お茶のヒーロー「茶神 888」5,000 日の軌跡</li> <li>○連載記事</li> <li>・世界お茶事情：イタリアでティーソムリエになるということ</li> <li>・茶業研究最前線：愛知県農業総合試験場東三河農業研究所茶業研究室</li> <li>・茶関連施設紹介：「とんがりぼう」が完成(藤枝市)</li> <li>・全国の茶産地から：岐阜県「美濃いび茶」</li> <li>・ふじのくに茶の都ミュージアム便り</li> <li>・世界緑茶協会レポート ほか</li> </ul>	
令和 5 年 3 月 52 号	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特集：世界緑茶会議 2022～世界における多様な日本茶のポテンシャルを探る～</li> <li>・セッションⅠ：講演</li> <li>・セッションⅡ：パネルディスカッション</li> <li>○特集：世界緑茶セミナー</li> <li>・日本茶とフランスチーズのマリアージュ～まつり特別編～</li> <li>・フランス菓子のホントのところ～お茶とスイーツを愉しもう～</li> <li>○連載記事</li> <li>・茶業研究最前線：茶葉の低温保管システムの開発と作期拡大を可能とする新品種の育成</li> <li>・茶関連施設紹介：「奥久慈茶の里公園」（茨城県）</li> <li>・全国の茶産地から：10 年後も「お茶のまち」掛川であるために今できること</li> <li>・ふじのくに茶の都ミュージアム便り</li> <li>・世界緑茶協会レポート ほか</li> </ul>	1,000 部

### (3) 静岡茶体験コーナーの運営

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、「しずおかO-CHAプラザ」の静岡茶体験コーナーを運営するとともに、お茶の楽しみ方を提案する講座等を実施した（一部静岡県委託事業）。

#### ア しずおかO-CHAプラザの運営

場所・規模	静岡市駿河区南町 14-1 水の森ビル 3 階 65 m <sup>2</sup> 8 席
開場時間	月曜日～金曜日 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

内 容	静岡茶体験講座等の企画及び運営、世界緑茶コンテスト入賞茶や県内茶産地紹介などの企画展示、茶関連書籍などの資料収集
-----	--

## イ 静岡茶体験講座の企画運営

### ・本講座開催実績

講座テーマ	開催時期		参加人数
スローライフトレインで行くO-CHA 旅	5月4日～5月5日	(4回)	83
美味しさ際立つ静岡の新茶を味わおう！	5月24日～6月20日	(8回)	64
夏の愉しみ♪清涼感あふれる冷茶の世界	7月5日～7月26日	(8回)	63
ほっこりタイムに♪ほうじ茶を味わいつくそう	11月21日～12月16日	(8回)	63
「静岡のお茶」「世界のお茶」チョコレートとの TEA ペアリングを愉しもう	1月31日～2月22日	(8回)	64
合計	5テーマ・36回		337

### ・プチ講座開催実績

講座テーマ	開催時期		参加人数
美味しさ際立つ静岡の新茶を味わおう！	6月21日～7月1日	(12回)	22
夏の愉しみ♪清涼感あふれる冷茶の世界	8月2日～8月25日	(12回)	27
ほっこりタイムに♪ほうじ茶を味わいつくそう	12月21日～1月11日	(12回)	18
「静岡のお茶」と「世界のお茶」	2月28日～3月14日	(12回)	30
合計	4テーマ・48回		97

## 2 世界の茶に関する情報の集積及び発信（公益目的事業2）

### （1）日本茶輸出の促進

#### ア 国際的な見本市等への参加

日本茶輸出促進協議会事業の一環として、米国への日本茶輸出促進を目的に、Summer Fancy Food Show（2022年6月、ニューヨーク）、Winter Fancy Food Show（2023年1月、ラスベガス）において日本茶のプロモーションを行い、食品バイヤー等に対して日本茶の理解促進と新規需要層の開拓を図った。

名称	開催日	開催場所
Fancy Food Show Summer	2022年6月12日(日)、13日(月)、14日(火)	ジャビッツセンター(米国・ニューヨーク)
Fancy Food Show Winter	2023年1月15日(日)、16日(月)、17日(火)	ラスベガスコンベンションセンター(米国・ラスベガス)

## イ 日本茶輸出促進のための研修等

海外の茶販売業者や日本茶ビジネスを展開しようとする外国人を対象に、茶生産製造現場において静岡茶の実務を学ぶ研修プログラム「Shizuoka Tea Study Program」を行った。年度後半(10月)からは日本入国が容易になったため、従来のオンサイト研修を開始した。

区分	受講者数：国	研修受入先
オンライン研修	3人：イタリア×1名、アメリカ×1名、ポーランド×1名 計3か国	製茶業者2社 (島田市、菊川市)
オンサイト研修	6人：タイ×1名、スロバキア×2名、アメリカ×3名 計3か国	製茶業者3社 (森町、菊川市)

## (2) 世界への情報集積・発信

### ア 世界とのネットワーク形成

茶の輸出入については、国際的な枠組みで規格や基準の制定が進められている。これらへの関与を目的に、農林水産省が設置した国際規格への国内審議委員会に参画するとともに、各種国際機関や海外の茶関係団体等と連携して情報を収集した。

区分	内容
茶に関する国際機関等での情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISO(国際標準化機構)TC34/SC8(食品部会/茶専門分科会)の議題に関する国内審議に参画すると共に、農水省が行う国内事務局業務の一部、国内審議の意見調整とISO事務局への投票業務を分担して実施した。</li> <li>ITC(国際茶委員会)及びFAO-IGG(国連食糧農業機関「茶に関する政府間会議」)における茶の輸出入の規制や生産、貿易に関する情報の収集。</li> </ul>
各国の茶関連団体との交流、情報交換	<p>茶に関連する海外の団体(全米茶協会、カナダ茶・ハーブ協会等)や個人を対象に特別会員制度を設け、情報収集と発信を行った。</p> <p>&lt;海外特別会員の状況(令和5年3月)&gt;</p> <p>18か国・地域、30者・団体：</p> <p>中国2、韓国2、台湾4、米国6、英国2、イタリア2、カナダ、ドイツ、ロシア、スイス、アルゼンチン、コロンビア、ブラジル、シンガポール、ネパール、マレーシア、UAE、バーレーン各1</p>

イ ウェブサイトやソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用した情報発信  
公式ホームページ「O-CHANET」やFacebook等のSNSを活用して情報発信を図った。

媒体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式ホームページ「O-CHANET」(日英)</li> <li>・賛助会員向けメールマガジン：計12回発行</li> <li>・Facebook(多言語発信)：情報提供70件</li> <li>・Instagram(多言語発信)：情報提供70件</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本茶に関する基礎知識、専門知識</li> <li>・茶の機能・効能に関する研究成果情報</li> <li>・国内外の茶に関するニュースや生産・消費等の状況</li> <li>・国際見本市や輸出関連展示会等に関する情報</li> <li>・協会やその他関連団体が開催する茶関連イベント、行事に関する情報</li> </ul>

ウ ホームページバナー広告

お茶の総合情報サイトである公式ホームページ「O-CHANET」の充実と閲覧者の利便向上、茶の消費拡大を目的に、お茶及び関連商品販売事業者の広告を掲載した。

### (3) 世界緑茶会議の開催

世界お茶まつり2022秋の祭典の産業・学術プログラムの一環として、世界の茶の流通消費について議論する「世界緑茶会議2022」を「世界における多様な日本茶のポテンシャルを探る」をテーマに開催した。英国、米国、ドイツのお茶専門家から海外での緑茶流通の最新情勢を報告(ビデオ参加)するとともに、海外への茶販売に携わる方々をパネリストに迎え、議論を交わした。

開催期間	令和4年10月20日(木)午後1時30分から午後4時30分
開催場所	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 11階 会議ホール「風」他
講演者	日本、英国、ドイツ、米国などの茶業関係者
参加者 (聴講者)	国内茶業者、輸出関連事業者、海外茶業者など130人
内容	<p>○講演(主要消費国からの報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・角川 修(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)</li> <li>・シャロン・ホール(英国ティー・インフュージョン協会 最高経営責任者)</li> <li>・マキシミアン・ウィティグ(ドイツ茶・ハーブティー協会 事務局長)</li> <li>・ロナ・ティソン(伊藤園(北米)株式会社 副社長)</li> </ul> <p>○パネルディスカッション</p> <p>角川氏を議長に、海外へ茶を販売する4名(門脇サラ氏、古橋克俊氏、イアン・チュン氏、フローラン・ヴェーグ氏)を迎え、茶流通の現状と展望について議論した。</p>

(4) 世界緑茶コンテスト 2022 の開催

市場性の高い魅力ある新商品を提案し、茶の新たな需要を創造して消費の拡大に繋げることを目的に、世界緑茶コンテストを開催した。

募集期間	令和4年4月～6月30日
審査会	令和4年8月17～18日 ふじのくに茶の都ミュージアム
出品点数	95点（うち海外55点）
審査結果	最高金賞12点、金賞20点、パッケージ大賞3（1セット）点、フロンティア賞1点
入賞茶の展示 ・PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界お茶まつり2022等において展示、PRを実施した。</li> <li>・公式ホームページ「O-CHANET」に掲載した。</li> <li>・しずおかO-CHAプラザで展示した。</li> </ul>

(5) O-CHAパイオニア賞顕彰

茶に係る優れた学術研究や、緑茶の振興に寄与した産業技術、緑茶のある豊かな生活文化の提案等の優れた成果を顕彰するO-CHAパイオニア賞の選考委員会を開催し、6件の受賞者を決定した。

募集期間	令和4年10月～令和5年1月5日
選考委員会	令和5年2月14日

※国内受賞者4名は令和5年5月26日に川勝会長（静岡県知事）を表敬し、表彰楯を授与された。

<受賞者・団体>

部門	受賞者・団体	受賞タイトル
学術研究大賞	荒木 琢也 (農研機構本部事業開発部、茨城県)	茶園用防霜ファンの節電型制御技術の開発
産業技術大賞	松下 芳春 (松下園/代表、掛川市)	先駆的な有機茶生産と新たな需要創出につながる商品開発
文化・芸術大賞	Robert Hellyer (ウェイクフォレスト大学/教授、米国)	日米両国の史料を基にした日米茶貿易史の研究
O-CHA 特別大賞	村松 二六 (紅茶生産者、静岡市)	優れた紅茶製造技術により生産者育成、消費拡大、地域振興に尽力
CHALLENGE 賞	日野 朱夏(有限会社ファーム・ソレイユ東北 kitaha 企画・開発室/室長、宮城県)	東北の新たなお茶文化への貢献

CHALLENGE 賞	Budoor Steele (Chawan Japanese Tea House/創業者、バーレーン)	中東アジアへの日本茶、茶道、日本文化の紹介
-------------	--	-----------------------

#### (6) ChaOI フォーラム運営支援

静岡県からの委託を受けて、ChaOI フォーラムの事務局窓口の運営を行うとともに、フォーラム会員や関連企業・茶業者等を対象にオープンイノベーションの手法による新たな技術・商品の開発及び事業化の支援を実施した。

項目	概要
ChaOI フォーラム事務局窓口の運営	茶及び関連産業分野における専門家等を配置 (コーディネーター3名及び事務職員2名の5名体制)
会員の状況	茶生産者、茶商、メーカー、食品事業者等 667 会員 (令和5年3月31日現在)
コーディネーターによる相談・助言、マッチング等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談等件数 延べ 6,575 件 (令和4年4月～5年3月)</li> <li>分科会等開催 3回 参加者数 123 人</li> <li>ChaOI プロジェクト推進事業の採択件数 51 件</li> </ul>

#### <分科会等の開催実績>

期 日	内 容	参加者
令和4年 8月30日	「茶園の施肥・土壌管理」セミナー 講師：研究員(茶研センター、農研機構)、会員(生産者等)	40 人
11月14日	「有機栽培茶の生産と販路の拡大」セミナー 講師：ChaOI フォーラム事務局、会員(生産者等)	41 人
令和5年 2月21日	「茶を基幹とした複合作物導入」セミナー 講師：ChaOI フォーラム事務局、会員(生産者等)	42 人

#### 令和4年度事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項及び定款第12条に規定する事業報告附属明細書の作成にかかる事項はありません。

# 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	9,892,637	11,812,225	-1,919,588
普通預金	9,892,637	11,812,225	-1,919,588
スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142	7,219,722	7,455,997	-236,275
静岡銀行 駅南支店 普通763138	1,740,735	841,654	899,081
ゆうちょ銀行 00860-3-166641	932,180	3,514,574	-2,582,394
未収金	1,632,903	1,631,684	1,219
流動資産合計	11,525,540	13,443,909	-1,918,369
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	385,985,128	386,490,134	-505,006
投資有価証券(指定)	385,985,128	386,490,134	-505,006
定期預金(基)	7,014,872	6,509,866	505,006
基本財産合計	393,000,000	393,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,500,000	2,300,000	200,000
退職給付引当資産(一般)	2,500,000	2,300,000	200,000
特定費用準備金資産		3,000,000	-3,000,000
特定資産合計	2,500,000	5,300,000	-2,800,000
(3) その他固定資産			
固定資産合計	395,500,000	398,300,000	-2,800,000
資産の部合計	407,025,540	411,743,909	-4,718,369
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	3,977,947	4,887,607	-909,660
前受金	495,000	215,000	280,000
預り金	321,376	322,675	-1,299
送料	670	575	95
厚生年金預り	196,725	200,385	-3,660
健康保険料預り	123,981	121,715	2,266
賞与引当金	1,000,000	990,000	10,000
流動負債合計	5,794,323	6,415,282	-620,959
2 固定負債			
退職給付引当金	2,500,000	2,300,000	200,000
固定負債合計	2,500,000	2,300,000	200,000
負債の部合計	8,294,323	8,715,282	-420,959
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	
有価証券(財)	193,000,000	193,000,000	
指定正味財産合計	393,000,000	393,000,000	
(うち基本財産への充当額)	( 393,000,000)	( 393,000,000)	( )
2 一般正味財産	5,731,217	10,028,627	-4,297,410
正味財産の部合計	398,731,217	403,028,627	-4,297,410
負債及び正味財産合計	407,025,540	411,743,909	-4,718,369



# 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産の運用収入	6,840,327	6,840,413	-86
特定資産運用益			
特定資産受取利息	22	19	3
受取会費			
会費収益	8,145,000	8,650,000	-505,000
事業収益			
受講料等収益	196,596	103,568	93,028
情報誌発行等収益	470,800	175,700	295,100
出展負担金等収益	150	300,100	-299,950
世界緑茶コンテスト出品料	1,033,163	1,328,085	-294,922
世界緑茶コンテスト出品料	1,033,163	853,085	180,078
国際名茶品評会出品料		475,000	-475,000
バー広告収益		500,000	-500,000
受取補助金等			
補助金収益	5,429,000	5,429,000	
委託費収益	35,219,755	33,714,750	1,505,005
受取負担金	200,475		200,475
受取寄付金			
受取寄付金	2,000,000	2,000,000	
雑収益			
受取利息	242	277	-35
経常収益合計	59,535,530	59,041,912	493,618
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	4,242,000	4,242,000	
給料手当	28,988,221	27,879,781	1,108,440
臨時雇賃金	2,063,400	2,097,216	-33,816
退職給付費用	185,000	185,000	
福利厚生費	6,223,988	6,070,340	153,648
会議費	51,750	4,400	47,350
旅費交通費	1,903,353	1,450,055	453,298
通信運搬費	1,083,844	942,460	141,384
消耗什器備品費	64,147	361,275	-297,128
消耗品費	1,858,207	1,557,299	300,908
印刷製本費	250,310	166,608	83,702
賃借料	2,516,140	3,499,980	-983,840
保険料	68,340	29,820	38,520
諸謝金	2,051,100	896,944	1,154,156
租税公課	1,706,900	1,661,100	45,800
支払負担金	390,480	673,452	-282,972
委託費	4,051,821	2,017,400	2,034,421
広告宣伝費		50,600	-50,600
手数料	2,404,798	2,687,614	-282,816
管理費			
役員報酬	750,000	750,000	
給料手当	837,000	834,000	3,000
退職給付費用	15,000	15,000	
福利厚生費	563,177	448,690	114,487
会議費	67,420	13,100	54,320
旅費交通費	153,540	105,040	48,500

# 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	7,312	844	6,468
消耗什器備品費	99,880		99,880
消耗品費	11,976	10,150	1,826
印刷製本費	6,908	6,160	748
光熱水料費	127,934	98,899	29,035
賃借料	4,224	12,024	-7,800
租税公課	1,450	1,650	-200
支払負担金	150,000	150,000	
委託費	851,400	832,700	18,700
手数料	81,920	23,489	58,431
経常費用合計	63,832,940	59,775,090	4,057,850
評価損益等調整前当期経常増減額	-4,297,410	-733,178	-3,564,232
評価損益等計			
当期経常増減額	-4,297,410	-733,178	-3,564,232
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計			
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	-4,297,410	-733,178	-3,564,232
法人税、住民税及び事業税		71,000	-71,000
当期一般正味財産増減額	-4,297,410	-804,178	-3,493,232
一般正味財産期首残高	10,028,627	10,832,805	-804,178
一般正味財産期末残高	5,731,217	10,028,627	-4,297,410
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高	393,000,000	393,000,000	
指定正味財産期末残高	393,000,000	393,000,000	
III 正味財産期末残高	398,731,217	403,028,627	-4,297,410

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	3,420,163	3,420,163	3,420,164	0	6,840,327
基本財産の運用収入			3,420,163	3,420,163	3,420,164		6,840,327
特定資産受取利息					22		22
特定資産受取利息					22		22
受取会費	0	0	7,053,000	7,053,000	1,092,000	0	8,145,000
会費収入			7,053,000	7,053,000	1,092,000		8,145,000
事業収益	367,396	1,333,313		1,700,709	0	0	1,700,709
受講料収入	196,596			196,596			196,596
情報誌発行等収入	170,800	300,000		470,800			470,800
出展負担金等収入		150		150			150
世界緑茶コンテスト出品料		1,033,163		1,033,163			1,033,163
受取補助金等	2,423,255	38,425,975	0	40,849,230	0	0	40,849,230
委託費収入	2,423,255	32,796,500		35,219,755			35,219,755
補助金収入		5,429,000		5,429,000			5,429,000
助成金収入							0
受取負担金		200,475		200,475			200,475
受取寄付金	0	0	2,000,000	2,000,000	0	0	2,000,000
茶取引安定協会特定寄附			2,000,000	2,000,000			2,000,000
雑収益	0	0	0	0	242	0	242
受取利息				0	242		242
雑収益	0			0			0
<b>経常収益計</b>	<b>2,790,651</b>	<b>39,759,288</b>	<b>12,473,163</b>	<b>55,023,102</b>	<b>4,512,428</b>	<b>0</b>	<b>59,535,530</b>

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計			
(2)経常費用							
事業費	10,841,756	49,262,043	0	60,103,799		0	60,103,799
役員報酬	1,272,600	2,969,400		4,242,000			4,242,000
給料手当	2,955,202	26,033,019		28,988,221			28,988,221
臨時雇賃金	2,012,700	50,700		2,063,400			2,063,400
退職給付費用	55,000	130,000		185,000			185,000
福利厚生費	1,011,230	5,212,758		6,223,988			6,223,988
旅費交通費	190,054	1,713,299		1,903,353			1,903,353
通信運搬費	333,233	750,611		1,083,844			1,083,844
減価償却費				0			0
消耗什器備品費		64,147		64,147			64,147
消耗品費	371,165	1,487,042		1,858,207			1,858,207
会議費	32,500	19,250		51,750			51,750
印刷製本費	46,239	204,071		250,310			250,310
光熱水料費				0			0
賃借料		2,516,140		2,516,140			2,516,140
保険料	29,820	38,520		68,340			68,340
諸謝金	348,055	1,703,045		2,051,100			2,051,100
租税公課	148,588	1,558,312		1,706,900			1,706,900
支払負担金		390,480		390,480			390,480
委託費	1,722,103	2,329,718		4,051,821			4,051,821
広告宣伝費				0			0
手数料	313,267	2,091,531		2,404,798			2,404,798
管理費					3,729,141	0	3,729,141
役員報酬					750,000		750,000
給料手当					837,000		837,000
退職給付金支出					15,000		15,000
福利厚生費					563,177		563,177
会議費					67,420		67,420
旅費交通費					153,540		153,540
通信運搬費					7,312		7,312
消耗什器備品費					99,880		99,880
消耗品費					11,976		11,976
減価償却費							0
印刷製本費					6,908		6,908
光熱水料費					127,934		127,934
賃借料					4,224		4,224
諸謝金							0
租税公課					1,450		1,450
支払負担金					150,000		150,000
委託費					851,400		851,400
手数料					81,920		81,920
雑費							0
<b>経常費用計</b>	<b>10,841,756</b>	<b>49,262,043</b>	<b>0</b>	<b>60,103,799</b>	<b>3,729,141</b>	<b>0</b>	<b>63,832,940</b>

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,051,105	△ 9,502,755	12,473,163	△ 5,080,697	783,287	0	△ 4,297,410
基本財産評価損益等				0			0
特定資産評価損益等				0			0
投資有価証券評価損益等				0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,051,105	△ 9,502,755	12,473,163	△ 5,080,697	783,287	0	△ 4,297,410
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
中科目別記載				0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
中科目別記載				0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
法人税、市民税及び事業税					0		0
他会計振替額			0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 8,051,105	△ 9,502,755	12,473,163	△ 5,080,697	783,287	0	△ 4,297,410
一般正味財産期首残高	△ 57,245,138	△ 74,985,541	143,381,264	11,150,585	△ 1,121,958	0	10,028,627
一般正味財産期末残高	△ 65,296,243	△ 84,488,296	155,854,427	6,069,888	△ 338,671	0	5,731,217
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等				0			0
一般正味財産への振替額				0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			196,500,000	196,500,000	196,500,000		393,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	196,500,000	196,500,000	196,500,000	0	393,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>△ 65,296,243</b>	<b>△ 84,488,296</b>	<b>352,354,427</b>	<b>202,569,888</b>	<b>196,161,329</b>	<b>0</b>	<b>398,731,217</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員の賞与金の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

・ファイナンス・リース取引

リース物件の所有者が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金				
定期預金	6,509,866	505,006		7,014,872
有価証券	386,490,134		505,006	385,985,128
小計	393,000,000	505,006	505,006	393,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	2,300,000	200,000		2,500,000
特定費用準備資金	3,000,000	1,000,000	4,000,000	0
小計	5,300,000	1,200,000	4,000,000	2,500,000
合計	398,300,000	1,705,006	4,505,006	395,500,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	7,014,872	(7,014,872)		
有価証券	385,985,128	(385,985,128)		
小計	393,000,000	(393,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	2,500,000			(2,500,000)
特定費用準備資金	0			
小計	2,500,000			(2,500,000)
合計	395,500,000	(393,000,000)		(2,500,000)

特定資産の利息については一般収入に繰り入れるものとする。

4. 担保に供している資産

なし

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
11 30年国債	219,436,410	252,855,000	33,418,590
111 20年国債	166,548,718	180,208,000	13,659,282
合 計	385,985,128	433,063,000	47,077,872

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
新・静岡茶グローバル戦略推進 事業費補助金	静岡県	0	5,429,000	5,429,000	0	一般正味財産
合 計		0	5,429,000	5,429,000	0	

7. 指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

当該事業年度末までに目的たる支出を行うことが予定されている補助金等を受け入れた場合には、その受入額を受取補助金等として一般正味財産増減の部に記載できることから、当公益法人は一般正味財産へ記載をしている。

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	法人等の 名称	住所	資産総額	事業 の 内 容 ま た は 職 業	議決 権 の 所 有 割 合	関係内容		取引の内 容	取引金額	科目	期末残高
						役員 の 兼 務 等	事業 上 の 関 係				
支配 法人	静岡県	静岡市 葵区	—	地方 自治 体	—	理事 1名 監事 1名	業務 の 受 入 れ	補助金受入 受託金受入	5,429,000 35,219,755	補助金収入 委託費収入	0 0

9. ファイナンス・リース取引関係

(1) リース物件の取得価額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位:円)

	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
什器備品	582,120	549,780	32,340

(2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	32,340	0	32,340

(3) 当期の支払いリース料、減価償却費相当額及び支払い利息相当額

(単位:円)

支払リース料	減価償却費相当額	支払い利息相当額
194,040	194,040	0

- (4) 減価償却費相当額の算定方法は、リース期間定額法によっている。
- (5) 重要性の乏しい所有権移転外ファイナンス・リース取引に該当するため、リース料総額から利息相当額を控除しないで計上する方法を採用している。



## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定財産の明細

財務諸表に対する注記の2に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	990,000	1,000,000	990,000		1,000,000
退職引当金	2,300,000	200,000			2,500,000

# 財 産 目 録

令和 5年 3月31日 現在

(単位：円)

(流動資産)	貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	現金預金			9,892,637
	普通預金			9,892,637
	スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142		運転資金として	7,219,722
	静岡銀行 駅南支店 普通763138		運転資金として	1,740,735
	ゆうちょ銀行 00860-3-166641		運転資金として	932,180
	未収金		補助金収入等	1,632,903
流動資産合計				11,525,540
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券			385,985,128
	投資有価証券(指定)		11 30年国債 219,436,410円	385,985,128
			111 20年国債 166,548,718円	
特定資産	定期預金(基)	スルガ銀行 静岡南支店 定期15561814		7,014,872
	退職給付引当資産	スルガ銀行 静岡南支店 普通2477718	職員の退職金の支払に備えたもの	2,500,000
その他固定資産	退職給付引当資産(一般)			2,500,000
固定資産合計				395,500,000
資産合計				407,025,540
(流動負債)				
	未払金		委託費等	3,977,947
	前受金		R5年度会費等	495,000
	預り金			321,376
	送料		機関紙送料の預かり分	670
	厚生年金預り			196,725
	健康保険料預り			123,981
	賞与引当金		職員の賞与の支払に備えたもの	1,000,000
流動負債合計				5,794,323
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員の退職金の支払に備えたもの	2,500,000
固定負債合計				2,500,000
負債合計				8,294,323
正味財産				398,731,217

# 監査報告書

公益財団法人世界緑茶協会  
会長 川勝 平太 殿

令和5年5月25日

公益財団法人世界緑茶協会

監事 櫻井正陽 

公益財団法人世界緑茶協会

監事 川崎 豊 

私たち監事は、当協会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他会議に出席し、理事及び使用人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。